

2008 年度

科目名 地誌学	対象学科・学年 教育教福3回生	担当者 阪野 祐介
授業テーマ 人びとの暮らしと地域・環境		
授業の概要と目標 地球上には、実にさまざまな人びとが暮らしています。そして、その多くの人びとは、地域の文化的背景や自然環境と関係しながら日々の暮らしを送っています。地誌学とは、その人びとの暮らし、文化的伝統、自然環境に注目しながら、地域の特性を明らかにする学問です。また地域といっても、世界レベルから身の回りの地域社会までさまざまなスケールが存在しています。したがって本講義では、地域を認識するための知識と方法を身につけてさまざまな問題について考えて下さい。		
評価方法 平常点（出席点）、および学年末レポートの成績により評価します。		
テキスト なし。	著者	出版社
参考書 地誌学概論 図説世界の地域問題	著者 矢ヶ崎典隆他編著 漆原和子他編	出版社 朝倉書店 ナカニシヤ出版
授業スケジュール・内容 1. 地誌学とは 2. 地誌学の歴史と方法論 3. 地域を調べる（1） 4. 地域を調べる（2） 5. 現代世界の地域（1） 6. 現代世界の地域（2） 7. 世界の中の日本 8. 日本の中の世界 9. 韓国の地誌（1） 10. 韓国の地誌（2） 11. 中国の地誌（1） 12. 中国の地誌（2） 13. 中国の地誌（3） 14. インドの地誌（1） 15. インドの地誌（2） 16. 東南アジアの地誌（1） 17. 東南アジアの地誌（2） 18. 東南アジアの地誌（3） 19. 中東の地誌（1） 20. 中東の地誌（2） 21. オセアニアの地誌（1） 22. オセアニアの地誌（2） 23. アメリカ合衆国の地誌（1） 24. アメリカ合衆国の地誌（2） 25. ヨーロッパの地誌（1） 26. ヨーロッパの地誌（2） 27. ラテンアメリカの地誌（1） 28. ラテンアメリカの地誌（2） 29. アフリカの地誌（1） 30. アフリカの地誌（2）	地域の個性（地域性）を知ること。 地誌学はどのように展開してきたのか。探検、国家、植民地、そして共存へ。 目的に適したいくつかの基本的調査方法を知る。 地域の個性を描くための調べ方と表現方法。 地図から読む世界の状況。差異を発見する。 地域・国家間のつながりの発見からみる世界。 日本社会と世界のつながりを見つけ出す。 日本社会で暮らす世界の人びとの暮らしを知る。 韓国の伝統文化と現代社会を知る。 韓国と日本との関係について歴史的・現代的状況を知る。 中国の自然・産業・社会の状況を知る。 中国における多民族社会の暮らしを知る。 中国と日本の関係を身近なところから見つけ出そう。 近代化・グローバル化とインドの都市と農村の展開と変容について考える。 インドと日本の関係を身近なところから見つけ出そう。 インドネシアの政治と文化。そして身近な生活の中に日本との関係を見つけ出そう。 ベトナムの政治と文化。そして身近な生活の中に日本との関係を見つけ出そう。 フィリピン政治と文化。そして身近な生活の中に日本との関係を見つけ出そう。 世界の石油エネルギー産出の中心としての中東。 宗教（イスラム教）からみた中東地域。原理主義とは何か。 自然環境と人びとの暮らし。雄大な自然と文化の関係について考える。 人種問題からみたオーストラリア。 アメリカの産業と世界のつながり。 多様性と統一性の国アメリカ。多民族に着目する。 EU とヨーロッパ産業。EU 内の多様な地域性を考える。 EU 統合と地域的多様性。政治的・社会的・文化的背景を考える。 植民地と産業の展開。植民地化は何をもたらすのか。 植民地による人の移動と文化的混雑性。 アフリカ大陸の多様な自然環境。アフリカは砂漠だけではない。 植民地化と国家、そして現代の民族紛争。アフリカの植民地問題について考える。	